



せんしょう苑 便り

第167号
平成29年
10月発行

望洋荘 坂本 ミイ子様の百寿を祝う

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 滉

「健康長寿いきいき運動」が国を挙げて、健康寿命百歳まで頑張ろうとのスローガンが唱え始められました。介護予防の重要性はもとより、「健康寿命」という平均寿命とは違った新たな指標に関心が集まっています。厚生労働省の七月の発表では、二〇一六年、日本人の平均寿命は女性が87・14歳、男性が80・98歳となり、過去最高を更新したと報告しています。

日本人の平均寿命が確実に延び続けて、一世紀を生きるセンテナリアン（百寿者）は、昨年九月時点で約六万五千七百人で、四十六年連続で過去最多を更新しています。長生きすることに加えて、その生活の質も問われています。厚生労働省健康課の担当者は「個人が健康でいること、健康寿命を少しでも延すことに意識が高まっている。健康寿命が短いと、治療や介護を要する期間が長くなり、肉体的、精神的、経済的な負担が大きくなる」と話しています。調査方法などに様々な意見もあるが、厚生省は健康寿命の考え方を広め、自治体や企業での推進を促し始めています。

長寿の時代、健康寿命という観点から、改めて健康とし

ての生き方を考えてみましょう。高齢者にとつての「健康」は、生活習慣病などの慢性疾患があつても、要介護状態にならず、自由に外出でき、自立した生活が送れる状態と考えていいでしょう。若い世代は、健診で何の異常も見つからないことが健康の目安になりませんが、高齢になると、全く異常がないという人は、極めてまれです。持病や不調とうまく付き合いつつながら、生活の質を保つことが、高齢者にとつての健康の目安といえるでしょう。

今日は、坂本ミイ子様が、大正六年一〇月十一日生まれで百歳の誕生日を迎えました。望洋荘開設一〇人目の百寿誕生となります。おめでとうございます。坂本様は元気なときは料理上手で、親戚が自宅に来られると手料理でもてなしてくれる明るい方とお聞きしています。当望洋荘には、平成二十五年九月一〇日から入荘され、ベッド上の生活、車椅子の利用ですが元気です。いつも素敵な笑顔で応対してくれています。徐々に難聴が進み、現在は筆談で交流を図っています。ご家族が見えられたときは、昔の思い出の写真を見ながら筆談での対応ながら柔和なまなざしで応じられている姿が多くみかけられています。

百寿を迎えられても、家族や職員と、しっかりとコミュニケーションが取れているという事は、坂本さまも健康長寿のおひとりとお数えても良いでしょう。



おやつバイキング

望洋荘



十月十五日に、おやつバイキングが催されました。ハロウィンに合わせて、カボチャのメニューも準備され、皆さんちよつとした仮装も楽しんでおられました。



せんしょう苑

運動会



十月八日にせんしょう苑みまやホールにて運動会が催されました。今年、新種目の綱引きが企画され、入居者・職員だけではなくご家族にも参加していただき、大いに体を動かしていただきました。

新規車両導入

望洋荘

公益財団法人JKA様より福祉車両に対する助成金を頂きました。競輪からの補助は2台目となります。新たな車両も大事に使用させていただきます。公益財団法人JKA様及び関係者の皆様、ありがとうございます。



事業名 : 平成29年度 福祉車両の整備 補助事業 (競輪)
 実施内容 : 移送車2 (スロープ式) 1台
 実施場所 : 福島県いわき市平豊間字合磯39番地
 補助金額 : 1,875,000円
 完了年月日 : 平成29年10月13日

十一月お誕生日の皆さん

【望洋荘】

渡邊 芳重 様	十一月 五日	九八歳
岩田 キヨ 様	十一月 十二日	九六歳
佐藤 榮子 様	十一月 二十四日	九二歳
政井 スツ子 様	十一月 一日	八八歳
和田 スミ 様	十一月 二三日	八六歳
田子 スマ子 様	十一月 五日	八四歳
丹野 モト 様	十一月 二十日	八三歳

編集後記

『望洋荘・せんしょう苑 便り』
 平成二十九年 十月三十一日発行
 発行所 いわき市平豊間字合磯三十九番地
 社会福祉法人 りんさく福祉会
 介護老人福祉施設 望洋荘

地域密着型介護老人福祉施設 せんしょう苑
 電話 (0246)55-7373
 電話 (0246)38-6331